

子ども医療

大阪府は子ども医療制度の改悪ではなく、制度の継続を!

子ども医療制度の改悪ではなく拡充を!

「貧困と格差」がすすむ大阪では、子ども医療費無料制度こそ必要です。大阪府は昨年から子ども医療費助成の対象年齢を「小学校就学前」に上げましたが、お隣の京都府や兵庫県と比べても全国ワースト。

各県独自の子ども医療費助成制度・通院(2015年度)

東京	中学校卒業
京都	小学校卒業
兵庫	中学校卒業
大阪	小学校入学前

安心して受けられる医療助成制度を

老人、一人親、障害者、子どもを対象にした府福祉医療助成制度に関する研究会では「新たに精神障害を加え患者負担を増やす」3つ選択肢(右表)で検討をすすめています。「そもそも国の制度にすべき」「お金を気にせず病院に行きたい」と府民の願いは切実です。

入院、通院、院外調剤、それぞれ1医療機関あたり

- ① 1日500円以内
- ② 1日800円以内
- ③ それぞれ1割負担



維新府政による子どもいじめ施策に 府民から怒りの声が集中心!

チャレンジテスト

教育をゆがめる 中学校チャレンジ テストは中止を!

高校入試に使う内申書の評価は、授業態度や提出物など年間を通じた成績を各中学校が責任を持ってつけるもの。ところが大阪府は、昨年から始めたチャレンジテストの結果で、学校がつけた評価をむりやり変更。学校関係者や保護者から「テスト至上主義で教育がゆがむ」と怒りの声が噴き出しています。

とりわけ中学3年では、たった一回のテストで、学校ごとに評価のワクが決まり、平均点が高かった学校では「5」や「4」をつけられても、低かった学校では「2」や「1」をつけざるを得なくなり、まったく不公平です。

「中3チャレンジテスト」で中学校を序列化 まったく不公平な入試に

ワクに従って10人に評価を配分すると…

「有利」な中学校 (評価平均「3.7」の上位校)

「5」「5」「5」「4」「4」「4」「4」「4」「3」「2」

「不利」な中学校 (評価平均「2.2」の下位校)

「4」「3」「2」「2」「2」「2」「1」「1」「1」「1」

保育所待機児童

各自治体で 「保育所を守れ」の 運動が大きく発展



「保育所 落ちた! 日本死ぬ」と保育所に入れない保護者の声は切実です。自治体でも公立保育所を廃止する一方で、「認定子ども園」に集約する動きが広がっています。それに対してママ・パパの会や保護者会を中心に「公立保育所を守れ」「待機児童を解消せよ」「保育士の処遇改善を」など府下自治体で運動が大きく広がっています。

松井知事は規制緩和で 「待機児童『ゼロ』作戦」!?

府の待機児童数は3349人(15年10月1日現在)です。子ども1人当たり面積基準の緩和や保育士資格を持たない「保育サポーター」の導入など、安全軽視と採算重視の保育行政を狙っています。

